

第 6 章

平成29年度

全国学力・学習状況調査結果について

平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

1 調査の概要

(1) 調査日時 平成29年4月18日(火)

(2) 調査の対象学年

- 小学校等・特別支援学校小学部 第6学年
- 中学校等・特別支援学校中学部 第3学年

(3) 調査内容

① 教科に関する調査

- ◇〔国語A、算数・数学A〕主として「知識」に関する問題
- ◇〔国語B、算数・数学B〕主として「活用」に関する問題

② 生活習慣や学習環境等に関する調査

- ◇児童・生徒質問紙調査…学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- ◇学校質問紙調査 …指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

2 調査実施校数、児童・生徒数(東京都公立)

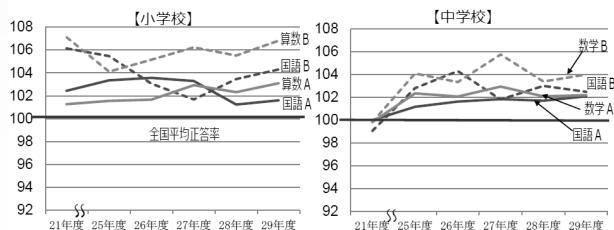
- (1) 小学校等・特別支援学校小学部 学校数 1,295校 児童数 87,356人
 (2) 中学校等・特別支援学校中学部 学校数 638校 生徒数 73,751人

3 教科に関する調査結果の概要

◇各教科の平均正答率

小学校	東京都(全国)	中学校	東京都(全国)
国語A	76%(75%)	国語A	79%(77%)
国語B	60%(58%)	国語B	74%(72%)
算数A	81%(79%)	数学A	66%(65%)
算数B	49%(46%)	数学B	50%(48%)

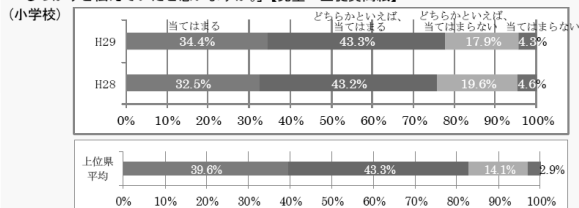
【標準化得点の推移】(全国の平均正答率を100としたときの東京都の得点の推移)
 ※標準化得点：各年度の全国平均正答率をそれぞれ100としたときの得点



- 小学校は平成19年度の調査開始以降、中学校は平成25年度以降、全国平均正答率を上回っており、小・中学校ともに、その状況を概ね維持している。
- 全ての教科において全国平均正答率を上回っている。

4 児童・生徒質問紙、学校質問紙調査の結果から

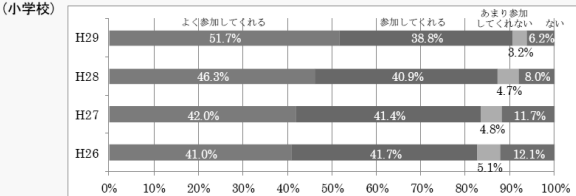
思考・判断・表現する力を育てる学習活動と平均正答率との関連
 「話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。」【児童・生徒質問紙】



	小学校		正答率(%)			
	東京都	全国	国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	34.4%	34.6%	80.5	65.3	85.2	54.8
どちらかといえば当てはまる	43.3%	43.5%	76.7	60.7	81.4	49.4
どちらかといえば当てはまらない	17.9%	17.8%	70.8	52.6	75.0	41.5
当てはまらない	4.3%	4.0%	63.2	42.5	65.6	32.4

- 目的や状況等に応じて互いの考えを伝え合い、理解し合う学習ができた児童・生徒の割合は増加しており、肯定的な回答をしている児童・生徒ほど正答率が高い。

保護者、地域の支援と平均正答率との関連
 「学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の方が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか。」【学校質問紙】



	小学校		正答率(%)			
	東京都	全国	国語A	国語B	算数A	算数B
よく参加してくれる	51.7%	51.0%	76.4	60.1	81.0	49.3
参加してくれる	38.8%	37.7%	74.9	58.4	79.4	47.4
あまり参加してくれない	3.2%	2.5%	73.8	56.4	78.2	45.6
仕組みがない	6.2%	8.8%	74.6	57.8	79.1	46.8

- 学校支援ボランティアの仕組みがある学校については、保護者や地域の方が学校の教育活動に参加している割合は増加しており、参加している割合が高い学校ほど正答率が高い。

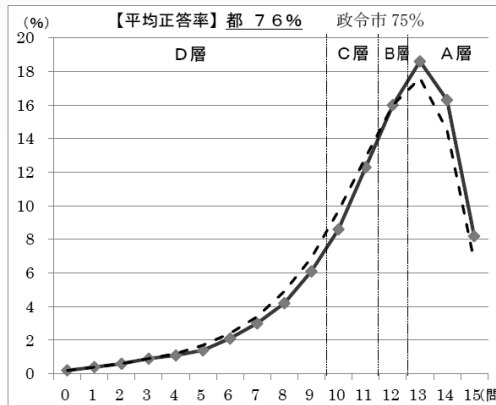
5 「政令市」と東京都の比較



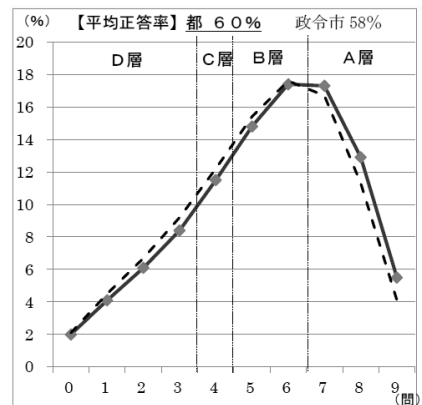
※ 政令市のデータ：公表されているデータ「大都市(政令市+東京23区)」から東京23区のデータを減じて作成

【小学校】 ※縦軸：児童・生徒の割合 横軸：正答数

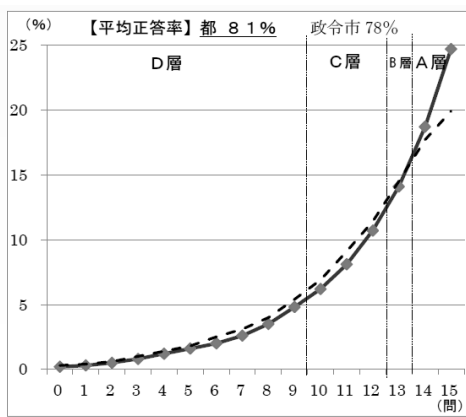
国語A



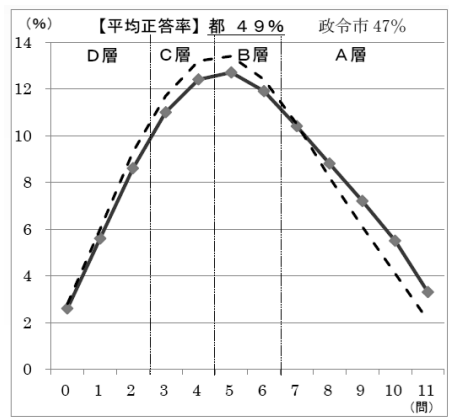
国語B



算数A

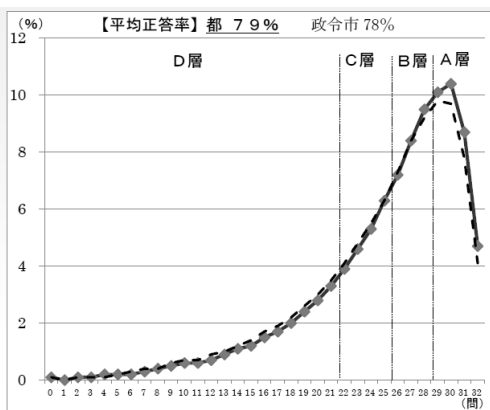


算数B

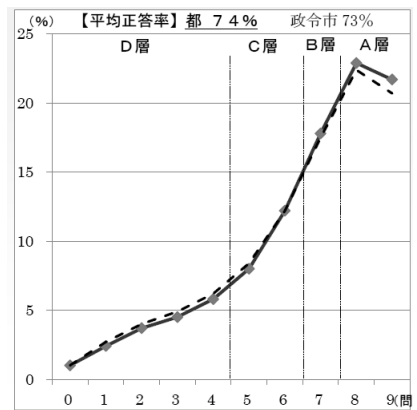


【中学校】

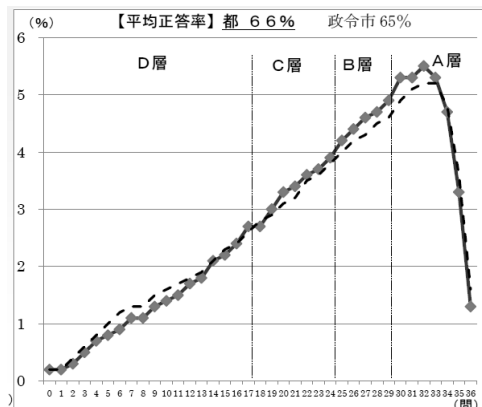
国語A



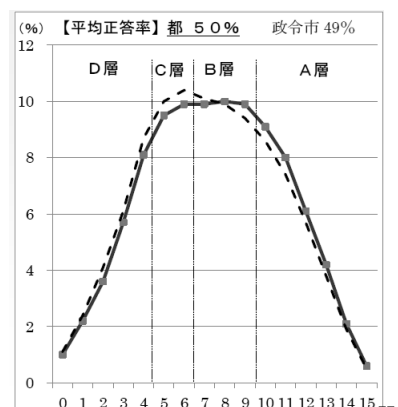
国語B



数学A



数学B



政令市と比較すると、全ての教科において平均正答率及びA層の割合が高い。今後ともAB層の増加とCD層の更なる減少を図る。

6 各教科の結果

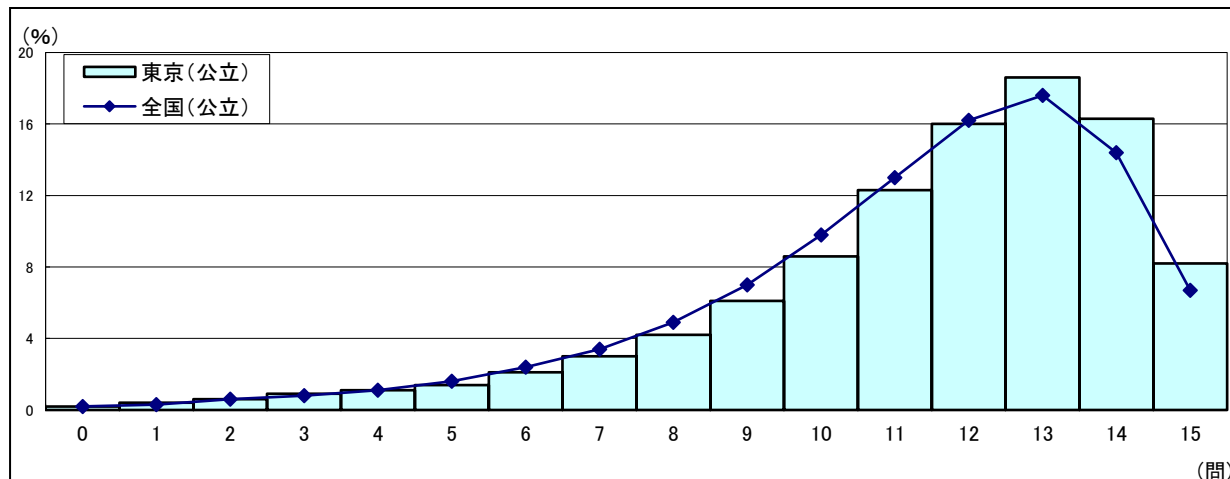
(1) 小学校国語

ア 調査結果の概要

【国語A】

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	11.4 問／15 問	76%	12.0 問	2.8
全国	11.2 問／15 問	74.8%	12.0 問	2.8

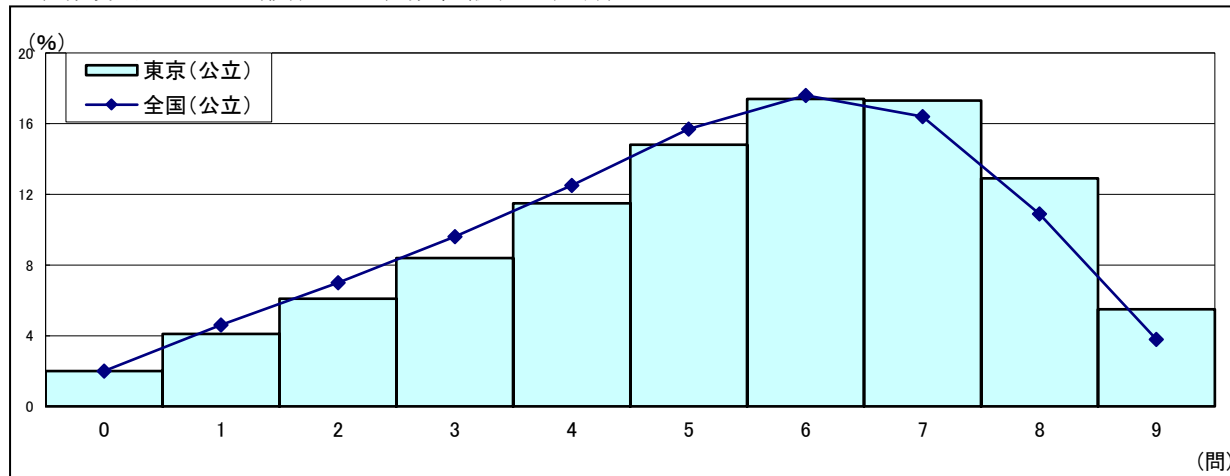
正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



【国語B】

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	5.4 問／9 問	60%	6.0 問	2.2
全国	5.2 問／9 問	57.5%	5.0 問	2.2

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



イ 観点ごとの結果

	国語 A		国語 B	
	設問数	平均正答率 (都(全国))	設問数	平均正答率 (都(全国))
国語への関心・意欲・態度	0	—	3	42.9% (41.7%)
話す・聞く能力	1	72.4% (69.2%)	3	66.8% (64.9%)
書く能力	2	61.7% (60.6%)	5	55.3% (53.4%)
読む能力	3	72.7% (70.2%)	3	51.9% (49.2%)
言語についての知識・理解・技能	11	79.1% (78.0%)	0	—

ウ 設問ごとの正答率と無解答率

【国語A】

設問 番号	設問の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率	無解答率	正答率	無解答率
1	学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する	72.4	0.2	69.2	0.1
2一	お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する	81.5	0.2	79.7	0.1
2二	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する	42.0	0.3	41.5	0.3
3	学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する	78.2	0.6	74.4	0.5
4一	俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	79.9	0.6	79.4	0.5
4二	グループの話し合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する	60.1	0.9	57.0	0.7
5ア	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する(三度目の正直)	91.8	1.0	90.0	0.8
5イ	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する(もちほもち屋)	85.8	1.2	83.6	1.0
6	【「外郎売」の一部】を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択する	74.4	1.9	71.1	1.6
7(1)	漢字を書く(参加たいしょう)	43.1	12.6	42.0	10.6
7(2)	漢字を書く(4年生のきぼう者)	78.9	6.1	80.0	4.6
7(3)	漢字を読む(申しこみ期限)	94.3	3.7	94.5	3.0
7(4)	漢字を読む(事務室前)	90.3	3.6	88.8	3.0
7(5)	漢字を書く(箱がおいてあります)	77.2	13.8	76.8	11.8
7(6)	漢字を読む(指示)	93.9	3.8	94.5	2.9

【国語B】

設問 番号	設問の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率	無解答率	正答率	無解答率
1一	スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する	80.5	0.6	77.2	0.5
1二	グループの話し合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く	71.5	4.5	69.2	3.8
1三	折り紙のみりょくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く	48.4	3.4	48.4	2.6
2一	【緑のカーテン作りへの協力をお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する	74.8	0.9	70.8	0.7
2二	【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を、【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する	73.3	3.8	70.9	3.2
2三	「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の[イ]に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く	35.3	3.5	33.0	2.8
3一	「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、[A]に当てはまる言葉として適切なものを選択する	77.8	3.4	75.9	2.6
3二	「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する	33.1	4.3	28.0	3.2
3三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんとび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	44.8	22.5	43.7	19.4

エ 良好な結果であった問題

【国語A】 3

(問題の趣旨) 目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことができるかどうかをみる。

(問題の概要)

3 新聞委員の小野さんと今村さんは、「時の記念日」について特集した内容を六月号の学級新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。
【資料】段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

(略：五つの段落がある文章)

(問い) 小野さんは、「なぜ六月十日が『時の記念日』なのか」、今村さんは、「なぜ『時の記念日』を設定したのか」についてまとめています。二人は【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を【資料】の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

平均正答率

全国 74.4%

東京 78.2%

(結果分析)

本問は、目的に応じて文章を読み、必要な情報が書いてある段落を見付けることができるかどうかをみる問題である。正答は小野さんが「2」の段落、今村さんが「3」の段落の完答で78.2%の正答率である。8割近くの児童が正答しているが、まとめようとしていることと各段落とを適切に関係付けることができている児童が2割以上いる。児童の実態等に応じて、目的に応じて、中心となる語や文を捉え、必要な情報を見つけて読むことの指導を工夫することが大切である。本問のように、「何のために調べるのか」、「何について調べるのか」など、調べる目的や事柄を明確にした上で、本や文章を選び、必要な情報を取り出すことが重要である。

【国語B】 1 一

(問題の趣旨) 動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話すことができるかどうかをみる。

(問題の概要)

1 石田さんは、日本語を学んでいる外国の人たちに、「折り紙」について紹介するスピーチをするため、友達に助言してもらいながら練習しています。次は、【スピーチメモ】、【スピーチの練習の様子】、【グループの話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチメモ】(略) 【スピーチの練習の様子】(動画で記録したもの)(略)

【グループの話し合いの様子】(略)

一 石田さんのグループは、【グループの話し合いの様子】の□□□□において、どのような目的で動画を見ていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 調べて分かったことをいくつか伝えているか、整理するため。
- 2 よい点を多く見つけて、他の人の参考にしてもらうため。
- 3 相手に応じた話し方の改善点について、確かめるため。
- 4 姿勢や表情に気をつけて話していたか、ふり返るため。

平均正答率

全国 77.2%

東京 80.5%

(結果分析)

本問は、目的や相手に応じた話し方の改善点について考えて、確かめることができるかどうかをみる問題である。正答は、「3」で、80.5%の正答率である。スピーチをする際、相手に応じて、話す速さや抑揚、間の取り方等を考えたり、相手の興味・関心のある話題選びや話の構成、資料提示の仕方等を考えたりするなど、表現の工夫について今後も継続的に指導していくことが大切である。

オ 課題がみられた問題 ※活用問題（B問題）を除く。

【国語A】4 二

(問題の趣旨) 俳句の情景を捉えることができるかどうかをみる。

(問題の概要)

4 中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた【俳句カード】と好きな俳句を紹介するための【話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【俳句カード】(略)

【話し合いの様子】(略)

二 中西さんのグループでは、話し合いを通して、自分たちが見つけた俳句のよさについても紹介しようとしています。紹介しようとしている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 言葉のひびきや作者の季節を感じる心
- 2 それぞれの作者の生き方や考え方
- 3 月の形が変化する様子や構成のくふう
- 4 季語の使い方や季語から想像したこと

平均正答率

全国 57.0%

東京 60.1%

本問は、グループの話し合いを通して、俳句の情景を捉え、俳句のよさを見付けることができるかをみる問題である。正答は「1」で、60.1%の正答率である。誤答の中で最も反応率が高いのは、「4」で27.0%である。この誤答の要因として、「話し合いを通して、自分たちが見つけた俳句のよさ」を適切に捉えることができず、選んだ俳句についてまとめた【俳句カード】の中の「季語」という言葉や、【話し合いの様子】の青木さんの発言に着目したことによるものと考えられる。

高学年における古典の指導に当たっては、中学校第1学年において、どのような古典の学習をするのかを踏まえることが重要である。小学校段階では、指導のねらいに応じて、複数の俳句を比べ、それぞれの俳句の特徴に気付くことができるようにするなど、言葉のもつ豊かさや多様性を感じることができるよう指導することが大切である。

課題を改善するために立ち戻るべき学習内容

- ◆ 易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること。(第3学年及び第4学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)
- ◆ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。(第5学年及び第6学年 C 読むこと)

情景や作者の思いを想像したり、想像したことを交流したりする。

俳句の指導に当たっては、季節感や風情、俳句に込めた思い等を思いうかべること、七音五音を中心としたリズムから、国語の美しい響きを感じ取ながら音読したり暗唱したりすることを通して、文語の調子に親しむことができるように指導することが大切である。また、児童が俳句に表れている情景や作者の思いなどについて感じたことを交流することで、自分が想像したことを広げたり深めたりすることが大切である。具体的には、好きな俳句を選んで俳句集を作るために、俳句を繰り返し音読したり、それぞれの俳句のよさについて話し合ったりすることが考えられる。

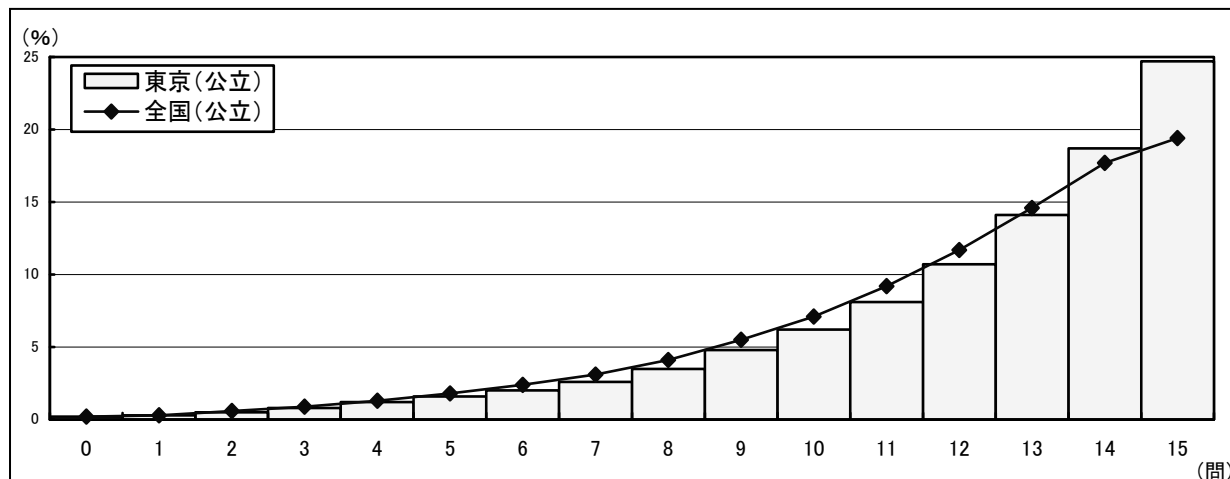
(2) 小学校算数

ア 調査結果の概要

【算数A】

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	12.1 問／15 問	81%	13.0 問	3.0
全国	11.8 問／15 問	78.6%	13.0 問	3.1

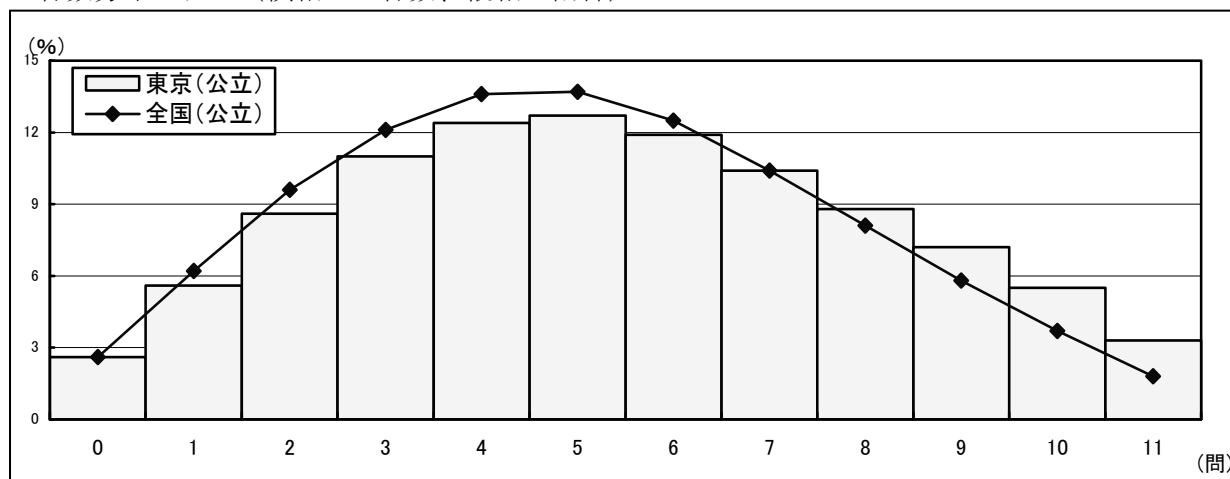
正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



【算数B】

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	5.4 問／11 問	49%	5.0 問	2.8
全国	5.1 問／11 問	45.9%	5.0 問	2.6

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



イ 観点ごとの結果

	算数A		算数B	
	設問数	平均正答率〔都(全国)〕	設問数	平均正答率〔都(全国)〕
算数への関心・意欲・態度	0	_____	0	_____
数学的な考え方	0	_____	9	48.3% (45.4%)
数量や図形についての技能	8	79.5% (77.7%)	0	_____
数量や図形についての知識・理解	7	82.2% (79.7%)	2	52.3% (48.6%)

ウ 設問ごとの正答率と無解答率

【算数A】

設問 番号	設問の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
1(1)	リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く	97.4	0.5	96.9	0.4
1(2)	買ったリボンの長さ、1m当たりのリボンの値段と、代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	75.1	2.0	69.9	1.8
1(3)	60×0.4 を、 60×4 を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ	92.4	0.8	91.0	0.7
2(1)	123×52 を計算する	85.4	0.6	85.2	0.5
2(2)	$10.3 + 4$ を計算する	84.5	0.6	79.7	0.4
2(3)	$6 + 0.5 \times 2$ を計算する	70.0	0.7	66.6	0.6
2(4)	$5 \div 9$ の商を分数で表す	66.3	5.4	69.2	3.9
3	8と12の最小公倍数を求める	86.2	1.5	86.2	1.2
4	重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ	73.2	0.8	70.7	0.6
5	示された平行四辺形の面積の、半分の面積である三角形を正しく選ぶ	72.4	1.5	67.0	1.3
6	円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く	76.1	2.6	75.5	2.3
7	立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ	88.9	1.1	86.7	1.0
8	はじめに持っていたシールの枚数を口枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	86.0	1.6	83.6	1.4
9(1)	出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ	90.0	2.9	88.0	2.6
9(2)	二次元表の合計欄に入る数を書く	68.0	5.6	62.8	5.1

【算数B】

設問 番号	設問の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
1(1)	カードの差が4の場合の、2けたのひき算の式と答えを書く	77.4	2.4	76.0	2.0
1(2)	示された考えを基に、 $54 - 45$ の場合で残る部分を図に表す	83.3	4.0	81.8	3.9
1(3)	2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く	43.2	16.0	38.6	14.9
2(1)	小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の、料金の差の求め方と答えを書く	43.5	6.9	40.4	6.4
2(2)	13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く	31.8	7.0	27.4	6.0
3(1)	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ	71.9	1.5	67.9	1.1
3(2)	仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める	25.7	15.1	26.1	12.7
4(1)	示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ	44.9	5.1	39.8	4.8
4(2)	学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ	32.6	4.9	29.3	4.6
5(1)	「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ	65.9	5.9	65.0	5.5
5(2)	与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く	19.2	9.0	13.2	8.7

エ 良好な結果であった問題

【算数A】 5

(問題の趣旨) 高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解しているかどうかをみる。

(問題の概要)

平行な2本の直線を使って、平行四辺形や三角形をかきました。
 下の1から4までの三角形の中で、平行四辺形アの面積の、半分の面積であるものはどれですか。すべて選んで、その番号を書きましょう。

平均正答率	全国 67.0%	東京 72.4%
-------	----------	----------

(結果分析)

本問は、高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解しているかどうかをみる問題である。正答は「2、3と解答しているもの」で、72.4%の正答率である。誤答の中で最も反応率が高いのは、「2と解答しているもの」のみで7.2%である。この誤答の要因として、高さが図形の外にある三角形について、高さが内にある平行四辺形の半分の面積であると捉えられなかったことによるものと考えられる。

【算数B】 3(1)

(問題の趣旨) 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができるかどうかをみる。

(問題の概要)

表1 ②の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の記録

回数	車が進んだきり
1	2 m 73 cm
2	80 cm
3	2 m 87 cm
4	2 m 69 cm
5	2 m 91 cm

(1) 2回目の記録を除いて、4回分の記録を使って車が進んだきりの平均が何cmになるかを求めます。下の1から4までの中の、どの式で求めることができますか。1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 (273 + 287 + 269 + 291) ÷ 4
 2 (273 + 80 + 287 + 269 + 291) ÷ 4
 3 (273 + 287 + 269 + 291) ÷ 5
 4 (273 + 80 + 287 + 269 + 291) ÷ 5

平均正答率	全国 67.9%	東京 71.9%
-------	----------	----------

(結果分析)

本問は、飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができるかどうかをみる問題である。正答は「1と解答している」もので、71.9%の正答率である。誤答の中で最も反応率が高いのは、「4と解答している」もので、14.2%である。この誤答の要因として、飛び離れた数値を除いた場合の平均を求めるという問題の意味を理解しておらず、2回目の測定値を除かずに計算してしまったことによるものと考えられる。

オ 課題がみられた問題 ※活用問題（B問題）を除く。

【算数A】2(4)

(問題の趣旨) 商を分数で表すことができるかどうかをみる。

(問題の概要)

次の計算をしましょう。

(4) $5 \div 9$ (商を分数で表しましょう。)

平均正答率

全国 69.2%

東京 66.3%

(結果分析)

本問は、商を分数で表すことができるかどうかをみる問題である。正答は、「 $\frac{5}{9}$ 」で、66.3%の正答率である。誤答の中で最も反応率が高いのは、0.555...を分数で表そうとしているもので7.8%である。この誤答の要因として、被除数を分子、除数を分母として、商を分数で表せることへの理解が不十分であるために、 $5 \div 9$ の商を概数で求めた後、分数にしようとしたができなかったことによるものと考えられる。

本問をできるようにするために立ち戻るべき学習内容

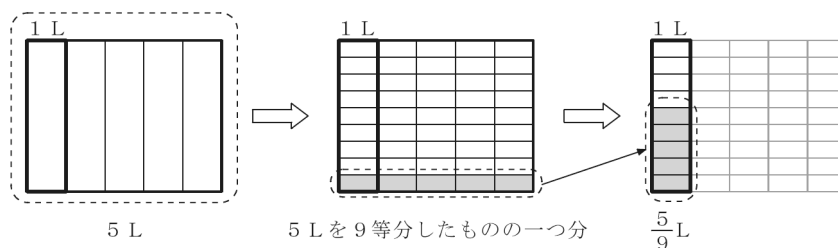
整数の除法の結果を分数で表す活動の充実を図る。

本問は、小学校第5学年〔A 数と計算〕領域の学習内容である。整数の除法の結果は分数で表すことができることを理解できるようにする学習である。

第5学年の学習では、例えば次のような活動を通して、除法の被除数、除数と商の分子、分母の関係を確実に理解できるようにすることが大切である

(例)

- 「2 mのテープは、3 mのテープの何倍になるか」を考える場面で、 $2 \div 3$ と立式した後、商を $\frac{2}{3}$ と表現することで、何倍かを表すときにも分数を用いることがあることを確認する活動。さらに、 $\frac{2}{3}$ を $2 \div 3$ と表し計算することで、分数の大きさの見当をつける活動
- 図を用いて、 $5 \div 9$ の場合、「5 Lの図を9等分し、その一つ分が $\frac{5}{9}$ Lになる」ことを説明する活動



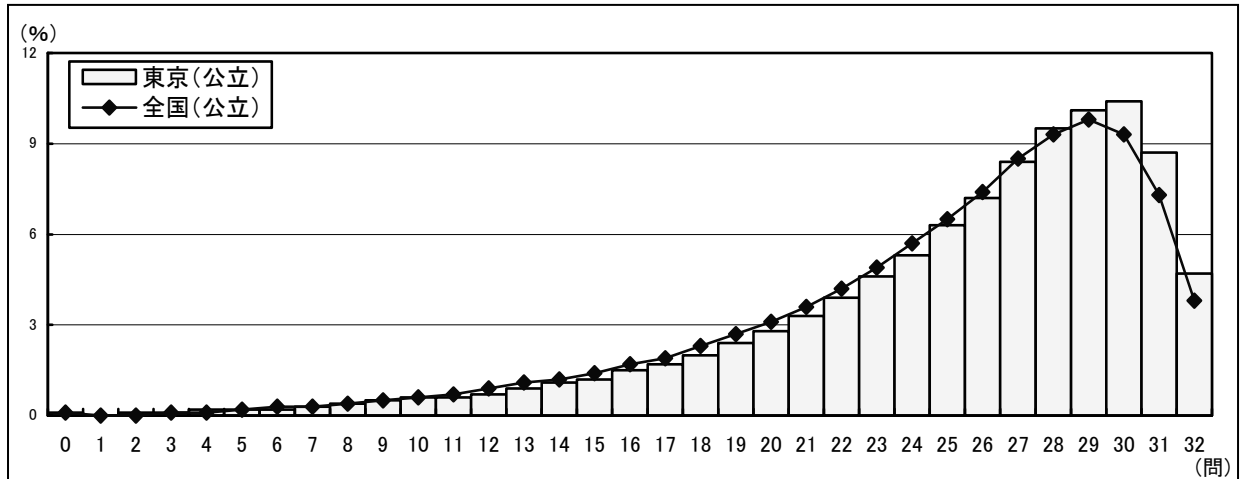
(3) 中学校国語

ア 調査結果の概要

【国語 A】

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	25.2 問／32 問	79%	27.0 問	5.7
全国	24.8 問／32 問	77.4%	26.0 問	5.7

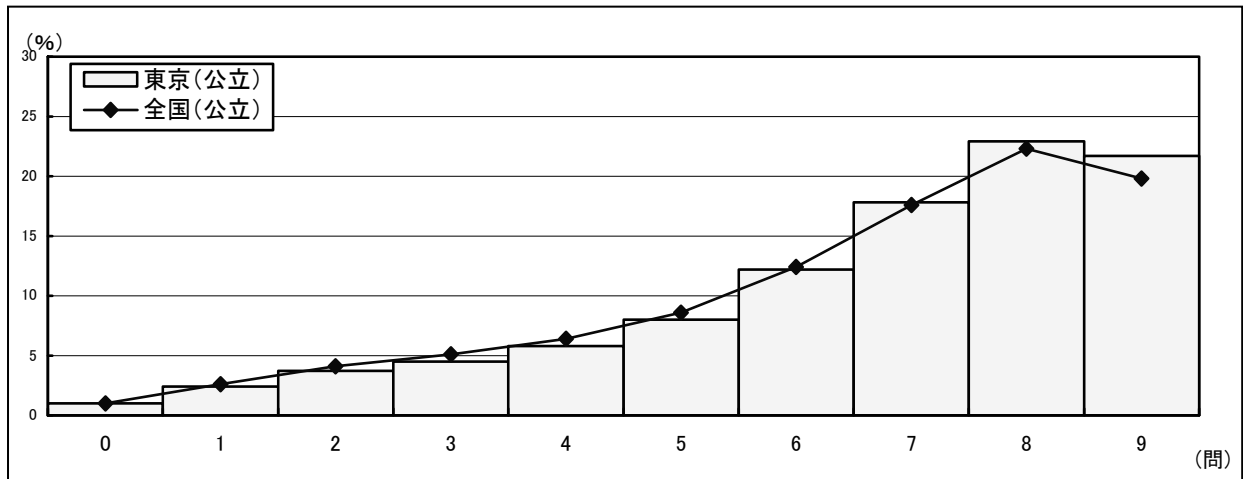
正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



【国語 B】

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	6.6 問／9 問	74%	7.0 問	2.2
全国	6.5 問／9 問	72.2%	7.0 問	2.3

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



イ 観点ごとの結果

	国語 A		国語 B	
	設問数	平均正答率〔都(全国)〕	設問数	平均正答率〔都(全国)〕
国語への関心・意欲・態度	0	—————	3	57.4% (55.9%)
話す・聞く能力	4	78.2% (75.4%)	3	73.9% (72.4%)
書く能力	4	87.0% (85.7%)	4	62.7% (60.8%)
読む能力	6	76.3% (73.8%)	4	73.0% (72.1%)
言語についての知識・理解・技能	18	77.8% (77.2%)	1	43.5% (41.4%)

ウ 設問ごとの正答率と無解答率

【国語A】

設問 番号	設問の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
1	画面に示された字幕の説明として適切なものを選択する	83.6	0.3	81.4	0.1
2一	イラストを提示する箇所として適切なものを選択する	89.3	0.2	87.8	0.1
2二	スピーチの構成の説明として適切なものを選択する	82.5	0.3	79.6	0.3
3一	読み手により伝わるように書き直す	87.0	3.3	86.0	3.3
3二	参考にした助言として適切なものを選択する	86.1	0.3	84.3	0.2
4一	見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する	84.0	0.3	81.0	0.2
4二	文章についての説明として適切なものを選択する	75.7	0.4	72.9	0.3
5一	書き方を説明したものとして適切なものを選択する	81.4	0.3	79.8	0.2
5二	書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する	93.5	0.3	92.7	0.2
6一	登場人物を整理したものとして適切なものを選択する	77.3	0.6	74.8	0.5
6二	一文の表現の意味として適切なものを選択する	63.7	0.7	60.1	0.5
7一	必要な情報をもらうために適した発言に直す	57.7	5.2	54.0	5.1
7二	結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する	83.5	0.6	80.4	0.4
8一	詩について説明したものとして適切なものを選択する	82.7	0.9	81.9	0.6
8二	交流の様子について説明したものとして適切なものを選択する	74.2	1.1	72.3	0.8
9一1	漢字を書く(組織のキボを大きくする)	60.0	17.9	62.8	15.8
9一2	漢字を書く(雨で運動会がエンキになる)	62.6	14.8	62.3	13.5
9一3	漢字を書く(店をイトナむ)	84.7	9.0	85.4	8.3
9二1	漢字を読む(覚悟を決める)	98.2	1.3	98.7	0.9
9二2	漢字を読む(鮮やかな色合い)	94.1	1.2	94.5	0.8
9二3	漢字を読む(水が垂れる)	94.2	1.6	94.3	1.1
9三ア	適切な語句を選択する(えりを正して話を聞く)	75.7	1.0	76.9	0.7
9三イ	適切な語句を選択する(急がば回れ)	63.6	0.9	61.4	0.7
9三ウ	適切な敬語を選択する(ご利用になる)	87.5	0.9	85.7	0.7
9三エ	適切な語句を選択する(ただし)	95.6	0.8	95.5	0.6
9三オ	適切な語句を選択する(確信する)	94.4	0.8	94.2	0.6
9四	言い直した意図として適切なものを選択する	92.1	0.9	91.6	0.7
9五	話合いの記録として適切な言葉を考える	39.2	13.7	35.8	13.1
9六1	行書の説明として適切なものを選択する	52.1	1.3	49.6	1.0
9六2	行書の「和」の特徴として適切なものを選択する	65.2	1.4	63.7	1.1
9七1	「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す(あやしう)	78.3	4.8	77.2	3.9
9七2	「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する	78.5	1.6	78.5	1.3

【国語B】

設問 番号	設問の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
1一	人物の様子が表現されている箇所として適切なものを選択する	85.9	0.2	84.1	0.1
1二	言葉を発した人物を文章の中から抜き出す	82.9	5.8	84.1	5.3
1三	比喩を用いた表現について感じたことや考えたことを書く	43.5	13.3	41.4	14.3
2一	スピーチで実演を行った意図として適切なものを選択する	87.0	0.4	85.4	0.2
2二	聞き手が伝えようとしていることとして適切なものを選択する	76.6	0.5	74.2	0.3
2三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	58.2	5.8	57.6	5.8
3一	下書きについての説明として適切なものを選択する	78.4	0.5	75.3	0.3
3二	作家の関係を書き直したものとして適切なものを選択する	79.8	0.7	78.7	0.5
3三	アンケート等で興味をもってもらえると考えた理由を書く	70.6	7.1	68.8	7.4

エ 良好な結果であった問題

【国語A】5 二

(問題の趣旨) 目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
(問題の概要)

(生徒会役員選挙を特集した生徒会だよりを題材に) []の部分に、——線部「周りの人たちのことを考えて行動する人」の具体例として書き加える情報として最も適切なものを選ぶ。

〈推薦者から〉

池田さんは、地道に努力する人です。所属するサッカー部では、いつも他の人より先にグラウンドに行き、一生懸命に基礎的な練習をしています。

また、周りの人たちのことを考えて行動する人です。

[]。

池田さんは、第一中学校の生徒会長としてふさわしい人だと思います。

(2年1組 林 花子)

- 1 幼い頃からサッカーが好きで、現在はサッカー部に所属している。
- 2 清掃のときは、自分の担当を終えると他の人の分も手伝っている。
- 3 趣味は読書で、休みの日は家でたくさんの本を読んでいる。
- 4 とても足が速く、いつもリレーの選手として推薦されている。

平均正答率	全国 92.7%	東京 93.5%
-------	----------	----------

(結果分析)

本問は、目的や意図に応じ、書き加える情報として適切なものを捉えることができるかをみる問題である。正答は「2」で、93.5%の正答率である。「周りの人たちのことを考えて行動する」こと具体例として、「他の人の分も手伝う」ことを、多くの生徒が適切に選択できている。

一方、今年度の都の調査問題(7)(1)で、目的や意図に応じて書くために、六つの情報から三つを選択する問題では、正答率は41.5%であった。両問を比較し、生徒の実態や発達の段階等に応じて、指導内容や学習活動を工夫することが大切である。

【国語B】2 一

(問題の趣旨) 目的に応じて資料を効果的に活用して話すことができるかどうかをみる。
(問題の概要)

(けん玉についてのスピーチで)〈実演〉二回目と〈実演〉三回目を行った意図として最も適切なものを選ぶ。

【スピーチの概要】「大皿」のコツは二つあります。一つは(中略)です。では、やってみます。〈実演〉二回目 (中略)もう一つのコツは(中略)です。では、ひざの動きに注意して見てください。〈実演〉三回目

- 1 技が成功する実演と失敗する実演の動きの違いに気付いてもらうため。
- 2 それぞれのコツの説明を実演と照らし合わせて理解してもらうため。
- 3 説明した内容に含まれていないコツを実演によって知ってもらうため。
- 4 易しい技と難しい技を実演することで興味をもってもらうため。

平均正答率	全国 85.4%	東京 87.0%
-------	----------	----------

(結果分析)

本問は、話す目的に応じて効果的に資料を活用できるかをみる問題である。正答は「2」で、87.0%の正答率である。多くの生徒が、「一つは」、「もう一つのコツは」のそれぞれの内容から意図を理解し、適切に選択できている。

今年度の都の調査問題7(2)②(正答率 81.1%)では、書く活動における効果的な資料の示し方について問題を設定している。両問を参考に、資料を効果的に活用し、根拠を明確にして話したり書いたりすることができる力を育成する指導を、継続して工夫していくことが大切である。

オ 課題がみられた問題 ※活用問題（B問題）を除く。

【国語A】7 一

（問題の趣旨）相手に分かりやすいように語句を選択して話すことができるかどうかをみる。

（問題の概要）

森さんの下線部①の発言のすぐあとに、先生から下線部②の発言を引き出すためには、森さんは下線部①でどのように発言するとよいか。次の□に当てはまる言葉を十字以内で書く。
もう一冊は□を取り上げたいと思っています。

【森さんと先生の会話（抜粋）】

森 私は、何かに打ち込みながら成長していく人が出てくる本を二冊紹介したいと考えています。一冊はサッカーに打ち込む中学生を主人公とした小説を選びました。①もう一冊はそれ以外を取り上げたいと思っています。

先生 もう一冊の本もスポーツに関係する本にしますか。

森 スポーツの本でも、スポーツでない本でもよいと考えています。

先生 それならば、野球に打ち込む中学生を主人公にした小説がありますよ。

森 いえ、そうではないのです。一冊は小説を取り上げたので、もう一冊の本は違うものにしたいのです。

先生 そうだったのですね。②では、実際にあった出来事を書いた本はどうですか。

平均正答率

全国 54.0%

東京 57.7%

（結果分析）

本問は、相手に分かりやすいように語句を選択して話すことができるかどうかをみる問題である。正答は「小説以外の本」（例）など「一冊は小説を取り上げたので、もう一冊の本は違うものにしたいのです。」の部分の内容を受けた言葉を十字以内で書くことで正答を導くことができる。正答率は57.7%であった。

本問では、自分の発言が相手にどのように伝わるか、それに対して相手がどのように反応するかを予測して、話す言葉や内容を選択することが求められる。このような能力については、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」それぞれの領域で総合的に育てていくことが必要である。また、本問の無解答率は5.2%であった。また、同じくA問題で記述式で解答する[9]五の無解答率は13.7%であった。記述式で解答する設問に対する無解答率の高さも引き続き課題である。

課題を改善するために立ち戻るべき学習内

- ◆ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。
（中学校第1学年 A 話すこと・聞くこと イ）
- ◆ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に
応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。
（中学校第1学年 A 話すこと・聞くこと ウ）

書くこと、読むことの指導と関連させて・・・

1 「読むこと」の教材から話すために必要な知識や技能を学ばせる。

- ・ 話すことについての指導を行う際に、既習の説明的文章を取り上げ、指導事項に関わる観点から優れた点を学ばせるようにする。例えば、本問のように相手の反応を予測して言葉や内容を選択する力を身に付けさせたい場合は、前年度などに学習した説明的文章を取り上げ、書き方の工夫を話す観点から捉えさせることが効果的である。

2 「書くこと」の指導と相互に関連付けて、能力の着実な育成を図る。

- ・ 「分かりやすさ」や「相手の反応の予測」といった共通の観点から、「話すこと」の指導を「書くこと」の指導と関連付けて指導し、力を着実に身に付けさせることが大切である。その際、「話し言葉と書き言葉の違い」や「音声言語と文字言語のそれぞれの特徴」などについても理解を深めさせるようにし、日常の言語活動に生かせるよう指導することも必要である。

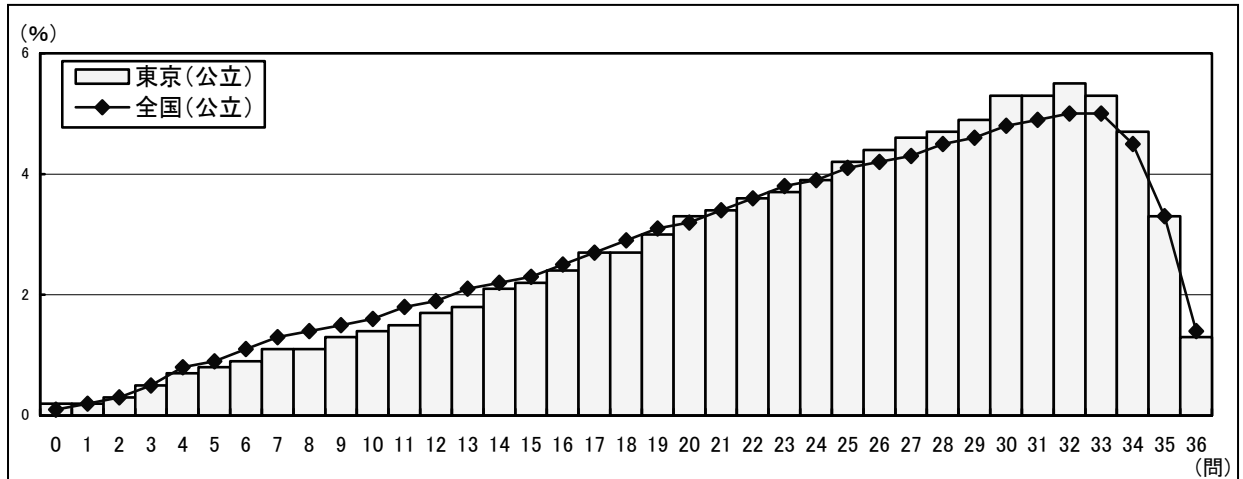
(4) 中学校数学

ア 調査結果の概要

【数学A】

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	23.8 問／36 問	66%	25.0 問	8.3
全 国	23.3 問／36 問	64.6%	25.0 問	8.5

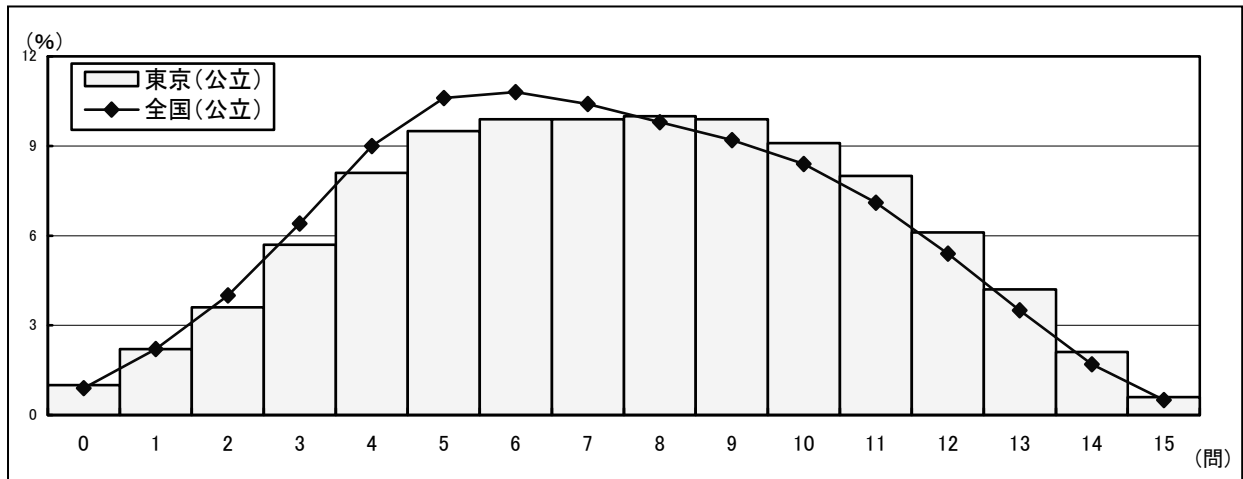
正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



【数学B】

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	7.5 問／15 問	50%	8.0 問	3.3
全 国	7.2 問／15 問	48.1%	7.0 問	3.3

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



イ 観点ごとの結果

	数学A		数学B	
	設問数	平均正答率〔都(全国)〕	設問数	平均正答率〔都(全国)〕
数学への関心・意欲・態度	0	—————	0	—————
数学的な見方や考え方	0	—————	10	38.8% (36.8%)
数学的な技能	20	69.9% (68.2%)	3	64.4% (61.2%)
数量や図形などについての知識・理解	16	61.4% (60.2%)	2	84.9% (85.1%)

ウ 設問ごとの正答率と無解答率

【数学A】

設問 番号	設問の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
1(1)	5/9×2/3を計算する	88.7	1.3	87.1	1.3
1(2)	aとbが負の数のときに四則計算の結果が負の数になるものを選ぶ	72.9	0.3	69.3	0.2
1(3)	10-6÷(-2)を計算する	77.5	1.2	75.6	1.1
1(4)	3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す	90.3	3.0	89.4	2.8
2(1)	5mの重さがagの針金の1mの重さを、aを用いた式で表す	60.5	8.4	56.3	8.1
2(2)	100-20a=bの式が表される場面を選ぶ	77.2	0.5	75.4	0.3
2(3)	(2x+5y)-(6x-3y)を計算する	81.1	1.7	78.5	1.7
2(4)	等式x+4y=1をyについて解く	58.8	9.0	56.1	8.8
3(1)	一元一次方程式4x=7x+15を解く	86.0	5.3	82.7	6.4
3(2)	数量の関係を一元一次方程式で表す	54.0	16.6	52.8	16.6
3(3)	x+y=2の解の意味について選ぶ	61.4	1.3	59.6	1.0
3(4)	連立二元一次方程式x+y=5、x/6+y/3=1を解く	64.4	14.5	62.2	14.9
4(1)	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	71.0	1.3	67.4	1.0
4(2)	△ABCを、点Aから点Pに移すように平行移動した図形をかく	91.3	2.5	90.6	2.5
4(3)	半径が5cm、中心角が120°の扇形の弧の長さを求める	34.1	20.7	30.7	19.7
5(1)	直方体において、与えられた辺に平行な面を書く	68.5	3.1	67.0	2.9
5(2)	1回転させると円錐ができる平面図形として正しいものを選ぶ	91.1	0.6	90.1	0.4
5(3)	立方体の見取図を読み取り、2つの線分の長さの関係について、正しい記述を選ぶ	81.4	0.8	80.2	0.6
5(4)	円柱の体積を求める	55.5	9.7	51.8	9.7
6(1)	錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ	41.3	0.8	43.1	0.6
6(2)	n角形の1つの頂点からひいた対角線によって分けられる三角形の数を数える	70.5	1.3	69.4	0.9
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	81.9	4.7	78.6	4.9
7(2)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	51.6	1.2	49.1	0.9
8	事柄「∠ABD=∠CBD、∠ADB=∠CDBならば、AB=CBである。」の仮定をすべて書く	75.0	10.1	74.3	10.1
9	長方形の縦の長さや面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	20.9	22.2	20.6	20.6
10(1)	比例y=4xについて、xの値が3のときのyの値を求める	86.1	7.2	84.6	7.3
10(2)	比例のグラフから式を求める	57.6	9.8	57.1	9.6
10(3)	反比例の表から比例定数を求める	34.4	22.8	34.4	20.8
11(1)	一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、式で表すことができる	76.2	10.5	75.9	10.1
11(2)	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	54.4	2.3	56.0	1.7
12	線香が燃えるときの時間と長さの関係を表したグラフを基に、2cm燃えるときの時間を選ぶ	68.3	1.5	67.6	1.1
13	二元一次方程式が表すグラフを選ぶ	62.8	2.9	63.0	2.2
14(1)	反復横とびの記録の範囲を求める	29.5	9.8	28.6	9.6
14(2)	6月1日から30日までの記録を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	44.5	15.7	45.5	15.0
15(1)	さいころを投げるときに「同様に確からしい」ということについての正しい記述を選ぶ	80.9	2.0	78.0	1.8
15(2)	赤玉3個、白玉2個の中から玉を1個取り出すとき、その玉が赤玉である確率を求める	79.4	7.7	78.3	7.9

【数学B】

設問 番号	設問の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)
1(1)	隣り合う4枚の正三角形の真ん中の1枚をある模様としたときに、残りの3枚にできる模様を選ぶ	68.6	0.3	67.5	0.2
1(2)	四角形ABCDの模様が1回の回転移動によって四角形BEFGの模様になるとき、どのような回転移動になるかを説明する	15.9	18.0	14.0	17.7
1(3)	与えられた模様となるような万華鏡を作りたいときに、その基となる正三角形の模様を選ぶ	54.1	0.5	52.8	0.3
2(1)	六角形を5個つくるのに必要なストローの本数を求める	80.7	1.6	80.4	1.3
2(2)	六角形をn個並べて6本ずつ困らなるときに、2回数えているストローをnを用いた式で表す	46.8	8.8	44.1	8.3
2(3)	六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を、6+5(n-1)という式で求めることができる理由を説明する	17.2	24.1	14.5	23.4
3(1)	与えられた表やグラフから、5月31日から4日経過したときに貯水量が2820万m³であったことを表す点を求める	91.0	3.8	90.8	3.5
3(2)	与えられた表やグラフを用いて、貯水量が1500万m³になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する	19.5	32.4	18.4	33.4
3(3)	与えられた式から、aの変域に対応するbの変域を求める	49.0	17.8	43.2	17.5
4(1)	2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	50.8	17.9	44.1	20.3
4(2)	∠BADと∠CBEが20°のとき、∠BEAの大きさを求める	63.3	11.5	60.0	10.9
4(3)	点Dと点EをBD=CEの関係を保ったまま動かしたとき、∠BFDの大きさについて、正しい記述を選ぶ	45.1	1.4	44.5	0.9
5(1)	1週間の総運動時間が420分のとき、含まれる階級の度数を求める	78.7	6.5	79.3	5.9
5(2)	全校生徒の女子の中で、若菜さんの1週間の総運動時間が長いかどうかを判断するための根拠となる値として適切なものを選ぶ	51.7	1.2	50.3	0.8
5(3)	「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	18.6	31.3	17.6	31.2

エ 良好な結果であった問題

【数学A】2(1)

(問題の趣旨) 数量の関係を文字式で表すことができるかどうかをみる。

(問題の概要)

5 mの重さが a g の針金があります。この針金の 1 mあたりの重さは何 g ですか。a を用いた式で表しなさい。

平均正答率	全国 56.3%	東京 60.5%
-------	----------	----------

(結果分析)

本問は、数量の関係を文字式で表すことができるかどうかをみる問題である。正答は「 $\frac{a}{5}$ 」もしくは「 $a \div 5$ 」で、60.5%の正答率であり、全国の平均正答率を4.2ポイント上回っている。この内容について過去には次のような関連した問題が出題されている。

年度 問題番号	問題の概要	全国の 正答率	東京の 正答率
H25A 2(3)	amの重さがbgの針金の1mの重さを、a、bを用いた式で表す	33.7%	35.1%
H27A 2(2)	赤いテープの長さがacmで、白いテープの長さの3/5倍の時、白いテープの長さをaを用いた式で表す	23.6%	26.4%
H28A 2(1)	ある数を3でわると、商がaで余りが2になるとき、ある数をaを用いた式で表す	33.6%	34.4%

全国の正答率と比較すると良好な結果ではあるものの、未だ数量の関係を文字式で表すことに課題があることがわかる。具体的な数や言葉を使った式を利用して数量の関係を捉え、その関係を文字式で表すことができるように指導することが大切である。

【数学B】4(1)

(問題の趣旨) 筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる。

(問題の概要)

図1

図1において $\triangle ABD \cong \triangle BCE$ を示し、それをもとにして、 $\angle BAD = \angle CBE$ であることが証明できます。 $\angle BAD = \angle CBE$ となることの証明を完成しなさい。

証明

$\triangle ABD$ と $\triangle BCE$ において、

合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle BAD = \angle CBE$

平均正答率	全国 44.1%	東京 50.8%
-------	----------	----------

(結果分析)

本問は、筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題である。50.8%の正答率であり、全国の平均正答率を6.7ポイント上回っている。

結論を導くためには何がわかればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見だし事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えたりする活動を取り入れるなど、証明の指導について、授業改善の成果が表れてきているものと考えられる。

それらの指導に加え、結論から仮定、仮定から結論の両方向から考えて証明する場面を設定するなど、様々な方向から証明を捉えさせる指導をしていくと効果的である。

オ 課題がみられた問題 ※活用問題（B問題）を除く。

【数学A 11(2)】

(問題の趣旨) 与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解しているかどうかをみる。

(問題の概要)

下のアからエまでの表は、 y が x の一次関数である関係を表しています。この中から、変化の割合が2であるものを1つ選びなさい。

ア									
x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	-2	-1	0	1	2	3	4	...

イ									
x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	7	5	3	1	-1	-3	-5	...

ウ									
x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	-5	-3	-1	1	3	5	7	...

エ									
x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-2	-1	0	1	2	3	4	...

平均正答率	全国 56.0%	東京 54.4%
-------	----------	----------

本問は、与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解しているかどうかをみる問題である。正答率は54.4%で、全国の正答率である56.0%と比較すると1.6ポイント低い。このことから、与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解することに課題があることがわかる。

課題を改善するために立ち戻るべき学習内容

一次関数 $y=ax+b$ の変化の割合を求めることができるように指導する際、表における x 、 y の値の変化の様子を調べ、変化の割合の意味を理解できるようにすることが考えられる。

この問題を実際に授業を生かす場合の視点として、一次関数 $y=2x+1$ について、表の提示を工夫することが考えられる。

例えば、 x の値を1ずつ増やすだけではなく、2ずつや3ずつ増やした場合を考え、 y の増加量から変化の割合を求める活動を取り入れることが考えられる。

【 x の増加量が1の場合】

x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	-5	-3	-1	1	3	5	7	...

【 x の増加量が2の場合】

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-11	-7	-3	1	5	9	13	...

【 x の増加量が3の場合】

x	...	-9	-6	-3	0	3	6	9	...
y	...	-17	-11	-5	1	7	13	19	...

このような活動を通して、一次関数の変化の割合は、 x の増加量が1以外の場合でも求められ、この値は x が1増えたときの y の増加量で常に一定であることが理解できるように指導することによって、変化の割合の意味を深く理解できるものと考えられる。